

株主通信

Vol.27

2015年3月期 2014.4.1~2015.3.31

INSIGHT & INFORMATION



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

証券コード 6467



ネットシェイプ事業

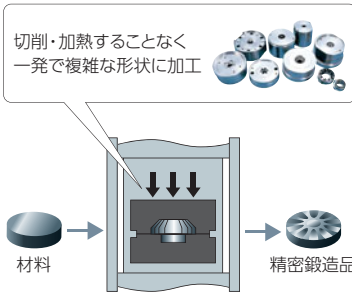
金型

- 金型生産・開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供

精密鍛造品

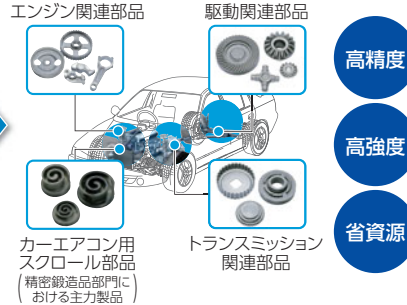
- 金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供

ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

金型

国内の全自動車メーカー系列企業
海外の自動車部品メーカーとの取引も増加

精密鍛造品

自動車部品メーカー (主製品はスクロール鍛造品)

全世界の自動車メーカー (欧州ではディーゼルエンジンのシェアが半数以上)



アッセンブリ事業

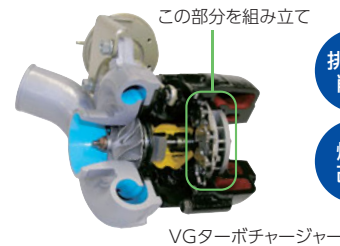
- 主にディーゼルエンジン車用「VGターボチャージャー」の部品の組み立て

「VGターボチャージャー」の部品を組み立て

国内およびタイ工場を組み立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応



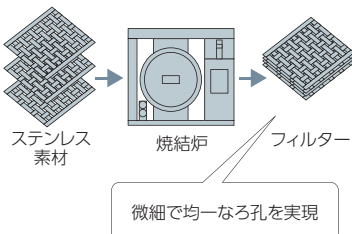
納入先メーカー(三菱重工業株式会社)でターボチャージャーの一部に組み込まれる



フィルタ事業

- 何枚ものステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産
- フィルターの洗浄・再生サービス

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工

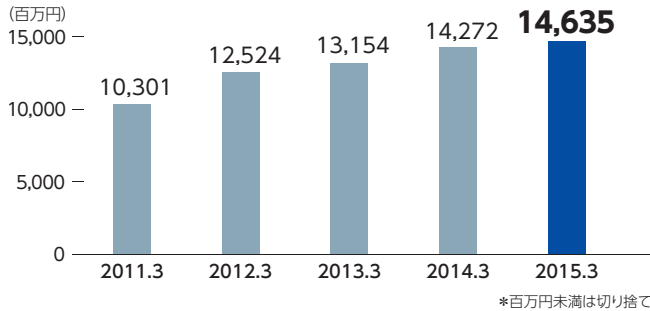


各種メーカー

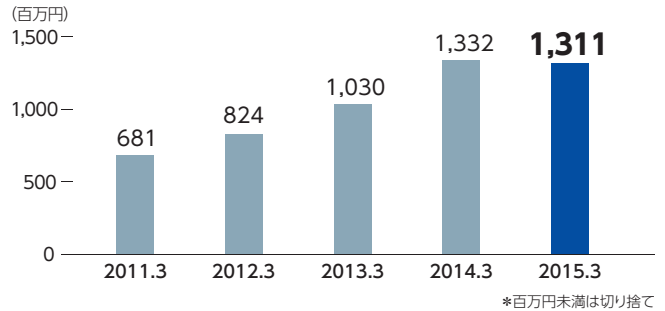
石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業 など



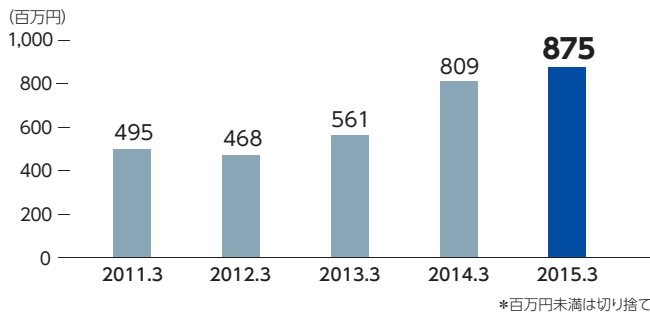
売上高



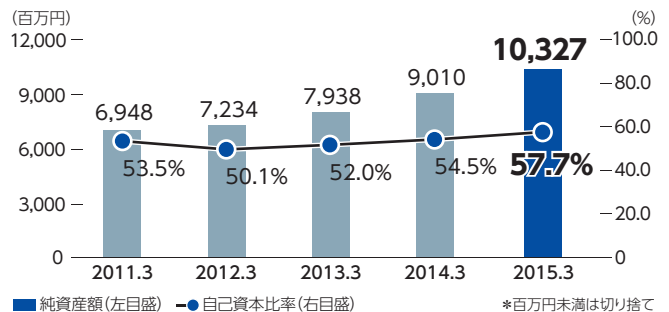
経常利益



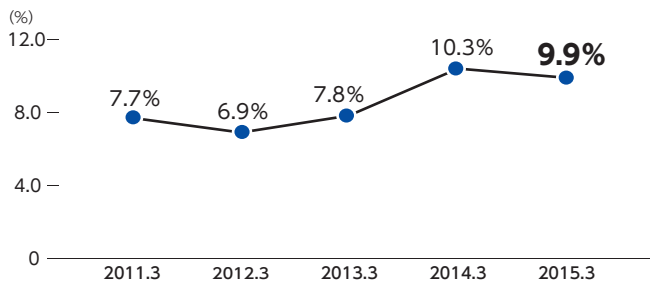
当期純利益



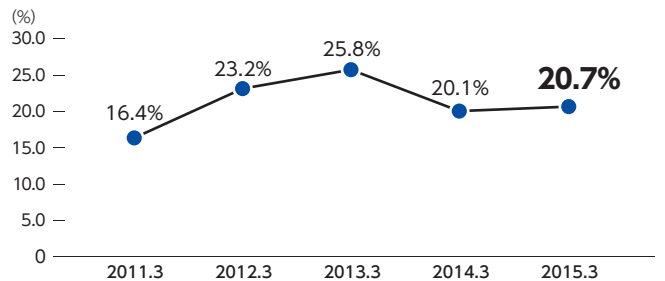
純資産額 / 自己資本比率



ROE



配当性向





新中期経営戦略の初年度は、 連結売上高と当期純利益が ともに過去最高となりました。

2015年3月期の累計期間(2014年4月1日~2015年3月31日)以下、当期)は、ネットシェイプ事業およびフィルタ事業の増収により、過去最高の売上高、当期純利益となりました。

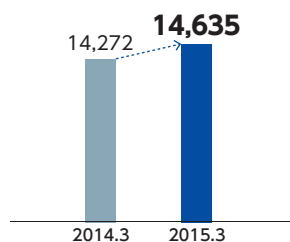
代表取締役社長
古屋 元伸

当期の業績(連結) *百万円未満は切り捨て

売上高

(百万円)

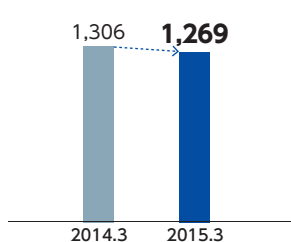
前期比**2.5%増** ↗



営業利益

(百万円)

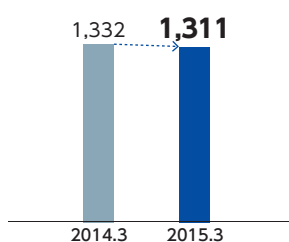
前期比**2.8%減** ↘



経常利益

(百万円)

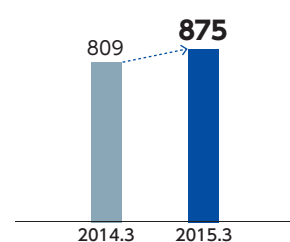
前期比**1.6%減** ↘



当期純利益

(百万円)

前期比**8.1%増** ↗



【見直しに関する注意事項】

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

Q 当期の売上高・利益の変動について教えてください。
A 創業以来最高の業績をあげることができました。

当期は、VGターボチャージャーのモデルチェンジによる受注の端境期の影響を受けて、アッセンブリ事業が減収となりました。しかしながらネットシェイプ事業とフィルタ事業は、海外での旺盛な需要に牽引され増収となりました。

こうした状況を受けて、当期売上高はこれまでで最高の146億3千5百万円(前年同期比2.5%増)となりました。アッセンブリ事業が減収のため営業利益は12億6千9百万円(前年同期比2.8%減)、経常利益は13億1千1百万円(前年同期比1.6%減)となりましたが、税金費用の影響により、当期純利益も過去最高となる8億7千5百万円(前年同期比8.1%増)を達成しました。

Q 京田辺工場再稼働の狙いは？
A 事業効率化と生産能力拡大を目的としています。

当社は、今期からスタートした新中期経営戦略において「海外展開の強化」「新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大～」 「QDC

改善による製品競争力の強化」「自動車産業以外の領域拡大」の4つのテーマに取り組んでいます。また、今期を次のフェーズに向けた成長のための基礎固めの時期と位置づけ、戦略推進のための土台作りを進めてきました。

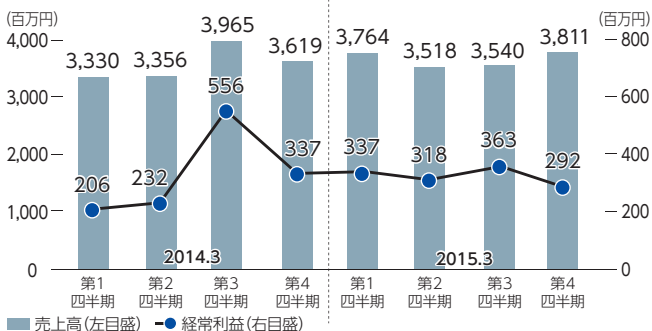
その一環として、未使用だった京田辺工場を再稼働し、アッセンブリ事業の生産性向上と品質改善、フィルタ事業の生産能力増強を図っています。(詳細は、P10「特集」をご覧ください。)

Q 次期の事業環境と業績の見込みは？
A 当期に引き続き堅実な成長を予想しています。

当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業は、国内市場では当期と同水準での推移が見込まれる一方で、海外市場では北米等での好況による継続的な需要増を予想しています。このような事業環境を背景に、ネットシェイプ事業では、金型部門、精密鍛造品部門ともに海外市場での売上増加による増収を見込んでいます。

アッセンブリ事業では、ニューモデルの登場により、VGターボチャージャーが受注の端境期を脱することから売上増の見通し

四半期ごとの売上高・経常利益の推移



全社当期実績と次期見通し

	当期 2015.3	次期(見通し) 2016.3	伸び率
売上高	14,635	15,700	7.3%
営業利益	1,269	1,400	10.2%
経常利益	1,311	1,350	2.9%
当期純利益	875	890	1.6%

*百万円未満は切り捨て

が立ち、フィルタ事業では大型海水ストレーナーの売上増加を見込んでいます。

このように、3事業すべてで増収見込みとなるため、次期の業績については、売上高157億円(前年同期比7.3%増)、営業利益14億円(前年同期比10.2%増)、経常利益13億5千万円(前年同期比2.9%増)、当期純利益8億9千万円(前年同期比1.6%増)と当期を上回る過去最高の売上、利益を予想しています。

Q 配当について教えてください。

A 次期も当期同様、年間20円を予定しています。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としています。

当期は、過去最高となった業績等も考慮し、期末配当を当初予想の8円から4円増配し12円としました。これにより、年間配当金は、中間配当金8円と合わせて計20円となります。

次期の配当につきましては、増収増益を見込む業績予想等を踏まえ、中間10円、期末10円の年間20円を予定しています。

当社は今後も、経営戦略実現のための投資を適宜おこないながら、株主の皆さまへの利益還元にも努めてまいります。

Q 中期経営戦略の進捗状況を教えてください。

A 各事業において着実に成果が出ています。

4つのテーマのうち「海外展開の強化」に関して、重要戦略拠点であるNICHIDAI (THAILAND) LTD. (以下、NDT)の役割強化に取り組みました。その結果、NDTは、金型およびスクロール鍛造品を増産するなど、アジア戦略の展開拠点としての基盤を固めています。次期は、金型およびスクロール鍛造品に加え、アッセンブリ事業での生産増も予定しています。

「自動車産業以外の領域拡大」に関しては、フィルタ事業における新用途開拓の成果である、大型海水ストレーナーの生産増が見込まれます。フィルタ事業のコア技術「拡散接合技術」についても、用途拡大の可能性があり、今後も積極的な提案による新規需要開拓を推進していきます。(詳細は、P10「特集」をご覧ください。)

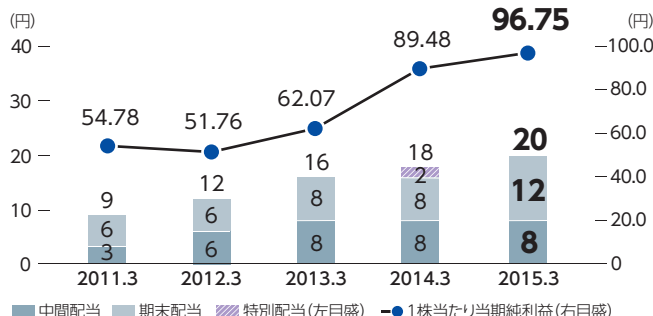
事業別の当期売上高と次期見通し

(百万円)

	当期 2015.3	次期(見通し) 2016.3	伸び率
ネットシェイブ事業	7,894	7,970	1.0%
アッセンブリ事業	4,772	5,600	17.3%
フィルタ事業	1,968	2,130	8.2%
連結計	14,635	15,700	7.3%


*百万円未満は切り捨て


1株当たり配当金 / 1株当たり当期純利益




中期経営戦略 当期の進捗

戦略1 海外展開の強化


 金型部門:NDTにおける生産は増加したものの、タイ自動車産業停滞の影響などにより、計画は未達。


 精密鍛造品部門:NDTにおけるスクロール鍛造品は当初計画は下回ったものの、量産が本格化し、売上高増加に貢献。

戦略2 新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大～

 金型部門にて、中空工法、小型ローター部品等新規開発を継続。

戦略3 QDC改善による製品競争力の強化

 2015年1月に国内のターボチャージャー部品の生産拠点を宇治田原工場から京田辺工場に移管。物流の整流化を念頭に置いたレイアウトの実現やコンタミネーション対策による品質対策強化が目的。

 塑性加工技術を活かした、ターボチャージャー部品の構成部品内製化を開始。

戦略4 自動車産業以外の領域拡大

 THAI SINTERED MESH CO., LTD.における石油掘削用フィルターが好調に推移。

 年度後半より、大型海水ストレーナーの売上が増加。

Q コーポレートガバナンスの強化についてどう考えていますか。

A 新制度の導入で、意思決定と執行の分離を徹底します。

コーポレートガバナンスを強化するために、監査等委員会設置会社へと移行するとともに、執行役員制度を導入します。監査等委員会設置会社に義務付けられる社外取締役の導入により、監査・監督の強化を図ります。あわせて導入する執行役員制度の目的は、経営の意思決定と業務執行の分離および業務執行の役割と責任の明確化にあります。

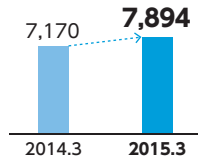
昨今、「日系自動車産業のグローバル化」や「技術開発のスピード化」など、当社グループを取り巻く事業環境の変化は加速度を増しています。コーポレートガバナンスの強化により、機動的、戦略的な経営体制を構築し、環境変化に的確に対応していく所存です。(詳細は、P9「特集」をご覧ください。)



ネットシェイプ事業

売上高 (百万円)

前期比 **10.1%増**



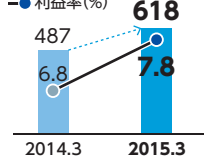
*百万円未満は切り捨て

売上高構成比 2015年3月期 **53.9%**

経常利益・利益率

■ 経常利益(百万円)

● 利益率(%)



当期の概況

金型部門においては、国内ユーザー向けの輸出入金型が増加し、中国、韓国等のアジア地域における海外現地ユーザー向けの売上高も増加しました。精密鍛造品部門では、NDTにおいてスクロール鍛造品が増産となりました。これらの結果、ネットシェイプ事業の売上高は、78億9千4百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

利益面においては、金型部門の増収効果に加え、NDTにおけるスクロール鍛造品の生産が増加したことから、経常利益

6億1千8百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

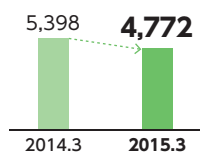
次期の見通し

金型部門においては、国内市場は前年並みで推移する一方で、アジア地域を中心とした海外向けの売上増を予想しています。精密鍛造品部門においては、NDTにおいて引き続きスクロール鍛造品の生産増が予想されることから、79億7千万円(前年同期比1.0%増)の売上高を見込んでいます。

アセンブリ事業

売上高 (百万円)

前期比 **11.6%減**



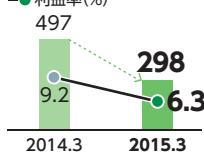
*百万円未満は切り捨て

売上高構成比 2015年3月期 **32.6%**

経常利益・利益率

■ 経常利益(百万円)

● 利益率(%)



当期の概況

VGターボチャージャー部品に関して、年度後半にニューモデルが登場したものの、通年ではモデルチェンジの端境期の影響を免れることができず、売上高は47億7千2百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

また、減収の影響を受けて、経常利益は2億9千8百万円(前年同期比40.0%減)となりました。

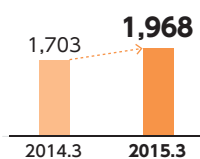
次期の見通し

国内外ともに新機種の生産が増加することにより、VGターボチャージャー部品はモデルチェンジによる受注の端境期を脱すると予想しています。これによる売上増が見込まれるため、通期の売上高は、56億円(前年同期比17.3%増)となる予想です。

フィルタ事業

売上高 (百万円)

前期比 **15.6%増**



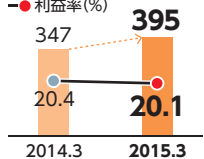
*百万円未満は切り捨て

売上高構成比 2015年3月期 **13.5%**

経常利益・利益率

■ 経常利益(百万円)

● 利益率(%)



当期の概況

欧州向けの輸出入大口案件やTHAI SINTERED MESH CO.,LTD.における石油掘削用フィルターが堅調に推移しました。その結果、フィルタ事業の売上高は19億6千8百万円(前年同期比15.6%増)となりました。また、売上高増加により経常利益は3億9千5百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

次期の見通し

大型海水ストレーナーの売上増が予想される一方、石油掘削用フィルターは、前年より低い水準で推移する見込みです。これを受けて、通期の売上高は、21億3千万円(前年同期比8.2%増)を予想しています。

2014年11月

Metalex Thailand 2014に出展

工作機械や金属加工技術に関連するASEAN地域最大級展示会『Metalex Thailand 2014』に出展しました。(2014年11月19日～22日バンコク国際貿易展示場にて開催)今回はニチダイ、ニチダイタイランドの社名を併記したブースで出展し、金型製品のほか、タイの拠点をアピールしました。今後も海外での展示会に積極的に出展していきます。



2015年3月

第7回 国際精密鍛造セミナー開催

2015年3月9日から12日にかけて第7回国際精密鍛造セミナー (ISPF) が名古屋で開催され、世界各国から精密鍛造に関わる著名な研究者や若手研究者・技術者が参加しました。研究発表が2日間にわたり行われた後、最終日に当社の工場見学会およびフェアウェルパーティーが催されました。



2015年4月 ニチダイフィルタ新社長に聞く

2015年4月、当社連結子会社のニチダイフィルタ株式会社の社長に就任した中村 篤人に経営に関する考え方を聞きました。



代表取締役社長
中村 篤人

目指している経営像

収益を上げながら中長期に発展していくためには、社員がお互い理解し合い、助け合い、身体的な、精神的な、社会的な生きがいを感じる職場環境でなければ企業の成長はありえないと考えています。「One for All, All for One」の「1人が皆のために、皆が1人のために」をモットーに、常に社員と会話していき、社員の個人との強い絆を築き上げていきます。そして、常に技術開発をおこない、新たな価値を生み出していくことも重要です。そのために5年後10年後を見据えた基礎開発に取り組めます。

成長のための施策

従来用途の拡販に加えて、ステンレス多孔質体の特性を活かした「新製品、新用途」※を創出し、「新規お客様」※に提案していきます。また、長期にわたって収益が見込まれる「量産品」の受注・生産力を強化し、経営基盤を安定させます。これらの果敢なる攻めの施策を「前へ」のモットーで推進し、さらなる企業価値の向上に努めます。

※「新製品、新用途、新規お客様」=「3N」(P10「連続処理(加熱から冷却)を可能にした焼結炉」もご覧ください。)

経営体制の変革

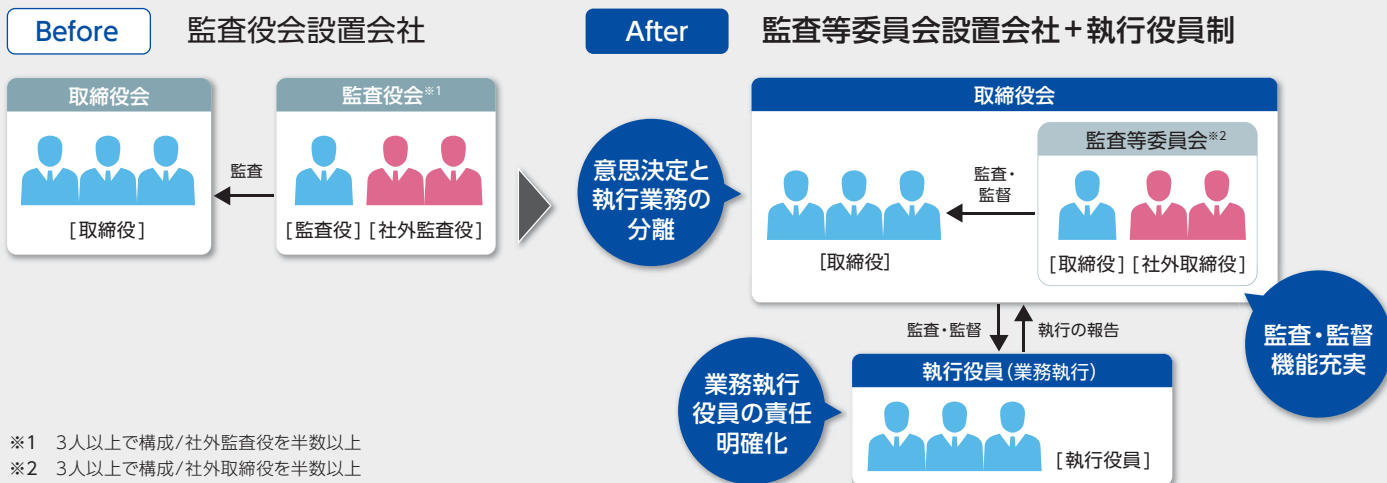
「監査等委員会設置会社」への移行と「執行役員制度」の導入

当社では、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図ることを目的に「監査等委員会設置会社」に移行するとともに、「執行役員制度」を導入します。

「監査等委員会設置会社」は本年5月1日に改正された会社法により新たに規定された機関設計であり、監査等委員会には

社外取締役を2名置くことが義務付けられています。

この「監査等委員会設置会社」への移行とあわせて、「執行役員制度」も導入します。これによって経営の意思決定と執行業務を分離し、執行役員の責任を明確にすることで、環境変化に機動的、戦略的に対応していく体制を目指します。



監査等委員を3人選任

岡 廣次郎 (取締役)

昭和52年 5月 当社入社
 平成 8年 4月 当社情報開発部長
 平成 9年 4月 当社経営企画室長
 平成12年 4月 当社管理本部 総務部長
 平成13年 4月 当社広報室長
 平成17年 4月 当社品質保証グループ マネージャー
 平成26年 1月 当社品質保証部 品質保証課担当

西野 吉隆 (社外取締役)

昭和51年 11月 監査法人中央会計事務所入所
 昭和56年 8月 公認会計士登録
 平成 9年 9月 中央監査法人 代表社員就任
 平成19年 8月 公認会計士西野吉隆事務所開設
 平成22年 1月 税理士登録

真田 尚美 (社外取締役)

平成 8年 4月 弁護士登録(大阪弁護士会) 三宅合同法律事務所 (現弁護士法人三宅法律事務所) 入所(現任)
 平成18年10月 大阪簡易裁判所 非常勤裁判官(民事調停官) 任官
 平成22年 9月 大阪簡易裁判所 非常勤裁判官(民事調停官) 退任

成長戦略実現のための投資

アッセンブリ事業 リニューアルした本社敷地内の新工場が始動

ターボチャージャー部品の組み立てをおこなうアッセンブリ事業の拠点が、宇治田原工場からリニューアルした本社敷地内の京田辺工場に移転しました。今回始動した新工場は、かつて金型の生産工場として使用されていましたが、1998年の宇治田原工場への全面移転により未使用となっていました。

この度、その当時の建屋をリニューアルしターボチャージャー部品の組立工場として使用することとなりました。

この移転により、モノの流れの整流化を可能とするレイアウト設計やコンタミネーション対策強化により、生産効率や品質向上といった効果が期待できます。



リニューアルした京田辺工場



拡張したフィルター工場

生産性
大幅UP



新規導入した焼結炉

フィルタ事業 連続処理(加熱から冷却)を可能にした焼結炉

アッセンブリ事業移転後の宇治田原工場のスペースは、フィルター工場として使用していきます。今回、工場スペースの拡張にあわせて、生産能力の増強を図るべく生産設備となる焼結炉を増設しました。導入した焼結炉は加熱と冷却を連動して行うことができるため、作業の時間短縮につなげることができます。

フィルタ事業では、「3N」＝「新製品、新用途、新規お客様」(P8「ニチダイフィルタ新社長に聞く」参照)の拡大による需要開拓を進めており、大型海水ストレーナーの生産が本格化するなどの成果が出ています。引き続き、成長のシーズとなる製品開発と用途開拓に注力することで、成長戦略を推進していきます。

連結貸借対照表

(百万円)

資産の部 科目	前連結会計年度末	当連結会計年度末
	2014年 3月31日現在	2015年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	2,086	2,424
受取手形及び売掛金	3,515	3,678
たな卸資産	2,115	2,556
その他	291	143
貸倒引当金	△ 5	△ 1
流動資産計	8,003	8,800
固定資産		
1 有形固定資産	6,723	7,188
無形固定資産	111	111
投資その他の資産	381	231
固定資産計	7,217	7,531
資産合計	15,221	16,331

*百万円未満は切り捨て

Check Point

1 有形固定資産

京田辺工場の再稼働などにより、有形固定資産が増加しました。

2 純資産の部

為替換算調整勘定が増加しました。

(百万円)

負債及び純資産の部 科目	前連結会計年度末	当連結会計年度末
	2014年 3月31日現在	2015年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	1,633	1,622
短期借入金	1,688	1,897
未払法人税等	176	114
賞与引当金	137	141
その他	789	764
流動負債計	4,425	4,540
固定負債		
長期借入金	1,033	943
退職給付に係る負債	201	—
その他	549	521
固定負債計	1,785	1,464
負債合計	6,210	6,004
(純資産の部)		
資本金	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	5,614	6,395
2 為替換算調整勘定	147	427
その他	4	8
少数株主持分	710	900
純資産合計	9,010	10,327
負債純資産合計	15,221	16,331

*百万円未満は切り捨て

連結損益計算書

(百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
売上高	14,272	14,635
売上原価	11,039	11,246
売上総利益	3,232	3,388
販売費及び一般管理費	1,926	2,118
営業利益	1,306	1,269
営業外収益	89	94
営業外費用	63	53
3 経常利益	1,332	1,311
特別利益	14	5
特別損失	32	23
税金等調整前当期純利益	1,314	1,293
4 法人税、住民税及び事業税	248	217
法人税等調整額	176	113
少数株主損益調整前当期純利益	890	961
少数株主利益	80	85
4 当期純利益	809	875

*百万円未満は切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,366	1,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,064	△ 926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,056	△ 174
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	111
現金及び現金同等物の増減額	287	486
現金及び現金同等物の期首残高	1,387	1,830
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	154	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,830	2,316

*百万円未満は切り捨て

Check Point

3 経常利益

ネットシェイプ事業、フィルタ事業は増益となりましたがVGターボチャージャーがモデルチェンジの端境期にはいつている影響により、アクセプブリ事業が減益となりました。その結果、経常利益が減益になっています。

4 当期純利益

税金費用の影響などにより、当期純利益は増益となり過去最高になりました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の増加などにより、営業活動によるキャッシュ・フローが減少しました。

国内の主要な事業所

(2015年3月31日現在)

本 社

京都府京田辺市薪北町田13

京田辺工場

京都府京田辺市薪北町田13

宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

浜松営業所

浜松市中区高丘西3-12-3 1階

名古屋営業所

名古屋市中区東区高社2-127 1F

京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

岡山営業所

岡山市北区辰巳22-103 TCKビル

熊本営業所

熊本市東区長瀬南1-1-7



本社



京田辺工場



宇治田原工場

関連会社

(2015年3月31日現在)

- ① ニチダイフィルタ株式会社
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- ② NICHIDAI (THAILAND) LTD.
Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand
- ③ THAI SINTERED MESH CO., LTD.
Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand
- ④ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION
15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA
- ⑤ NICHIDAI ASIA CO., LTD.
Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業



会社概要

(2015年3月31日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田 13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	335名(単独) 598名(連結)

役員

(2015年6月24日現在)

代表取締役社長	古屋 元伸	
取締役	瀬川 秀実	営業本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役	島崎 定	精密部品事業本部長 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長
取締役	畑中 恵二	生産本部長、技術・開発本部長
取締役	辻 寛和	管理本部長、経営企画室長
取締役	岡 廣次郎	監査等委員(常勤)
社外取締役	西野 吉隆	監査等委員
社外取締役	真田 尚美	監査等委員

当社ホームページのご紹介

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



<http://www.nichidai.jp/>

株式の状況

(2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	2,335名

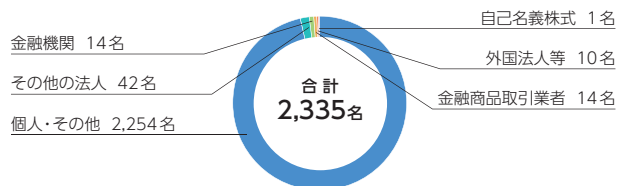
大株主

(2015年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
田中克尚	497,688	5.49%
ニチダイ従業員持株会	477,744	5.27%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	444,700	4.91%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	226,600	2.50%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
京都中央信用金庫	180,000	1.98%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%

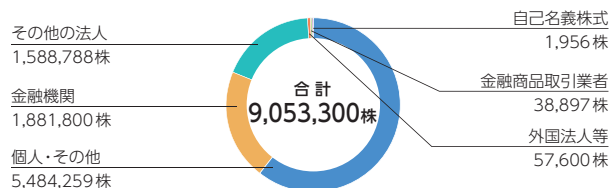
所有者別分布

(2015年3月31日現在)



所有者別株式数分布

(2015年3月31日現在)

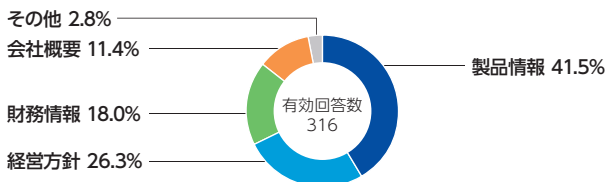


株主さま向けアンケート結果のお知らせ

2014年12月に発行した株主通信(Vol.26)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答、ご意見をいただきました。心から御礼申し上げます。お寄せいただきました貴重なご回答、ご意見は今後の事業活動、IR活動の参考にさせていただきます。

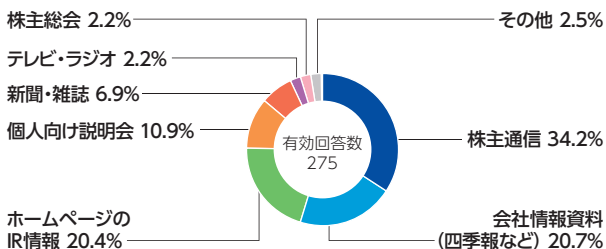
下記に、アンケート結果のうち、いくつかをご紹介します。

当社についてもっと知りたい情報



株主通信を通じて知りたい情報は1位「製品情報」2位「経営方針」3位「財務情報」4位「会社概要」の結果となりました。

当社の充実すべきIR活動



充実すべきIR活動のトップは「株主通信」でした。今後も株主さまのご要望にお応えできるよう、株主通信のレベルアップを目指していききたいと思います。

その他のご意見

- ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業等の単語が難しかった。
- 事業内容をあまり把握していなかったが、株主通信を読んだことで、理解ができた。
- 安定した配当継続をしていただきたい。
- 社員の様子が知りたかったので、表紙のデザインがとてもよかったです。

Investor Information

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関

同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法 電子公告
当社ホームページ(<http://www.nichidai.jp/>)
にて掲載

単元株式数 100株

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入、ご投函いただけますようお願いいたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
本 社 TEL. (0774) 62-3481 (代)